

E. 結論

今年度は、「退院調整連携パス導入に向けての試行」を通して在宅療養支援診療所・訪問看護ステーションなどと医療連携（病病・病診連携等）を行う際の問題点、さらには患者・家族への情報提供方法について検討した。今後、栃木県内を想定したがん情報提供のための体制基盤の検討を行なっていく。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

なし

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する報告

研究成果の刊行に関する一覧 平成19年度

書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
野口海、松島英介	緩和医療におけるリスクマネジメント	保坂 隆	精神科リスクマネジメント	中外医学社	東京	2007	185-190

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
緒方裕光	医療被ばくを受ける患者さんへのリスクマネジメントの要点	医療放射線技術学会雑誌	66	s47	2007
石川睦弓、他	患者・家族のためのがん情報収集法	治療	90(1)	145-150	2007
山崎むつみ、石川睦弓、他.	家庭医のためのがん情報収集法	治療	90(1)	137-143	2007
松下年子、松島英介、他	医師のがん告知におけるコミュニケーション	緩和医療学	9(1)	47-53,	2007
松田彩子、松島英介	放射線治療を受ける癌患者の精神的苦痛	精神科	10(1)	80-84	2007
松島英介	終末期のがん告知はどのようにすればよいか？	JUNIOR	6(No. 463)	37-41	2007
松下年子、松島英介	婦人科癌から回復した患者の心理とQOL	総合病院精神医学	19(2)	180-187	2007
藤枝政継、松島英介、他	ホスピスに従事する看護師の悲嘆とその関連要因—バーンアウトとソーシャル・サポートに着目して—	緩和医療学	9(4)	59-67	2007
石川和穂、松島英介	終末期がん患者と家族介護者による患者のQOL評価の一致の重要性—家族は患者のQOLをどのくらい正確に評価できるのか—	精神科	11(1)	68-72	2007
小林未果、松島英介	子宮頸がん経験者のQOLについて	精神科	11(3)	245-248	2007
小林真理子、松島英介	母親のがんと子どもの情緒的・行動的問題との関連要因	精神科	11(5)	395-398	2007

雑誌（外国語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Matsushita T, Matsushima E, et al.	Emotional state and coping style among gynecologic patients undergoing surgery.	Psychiatry and Clinical Neurosciences,	61(1)	84-93	2007
Matsushita T, Matsushima E, et al.	Sense of coherence among patients with cardiovascular disease and cancer undergoing surgery.	Holistic Nursing Practice	21(5)	244-253	2007

研究成果の刊行に関する一覧 平成20年度

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
高橋 都	「がんサバイバーシップ」という言葉が意味するもの	高橋 都、 一ノ瀬正樹	死生学第5巻 〈生死の境界をめぐる医と法〉	東京第大 学出版会	東京都	2008	9-30
高橋 都	患者とパートナーの関係への支援	嶺岸秀子、 千崎美登子	ナーシング・プロフェッション・シリーズ がん看護の実践2「乳がん患者への看護ケア」	医歯薬出版	東京都	2008	97-102
高山智子、 大松重宏、 森文子他		国立がんセンターがん対策情報センター	がん専門相談員のための学習の手引き～実践に役立つエッセンス	国立がんセンターがん対策情報センター	東京都	2008	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高橋 都	がん患者・家族のセクシュアリティへの支援－支援のヒントと活用できるリソース	家族看護	6 (2)	109-113	2008
高橋 都	各職種におけるサイコロジへの関与 (3) : 一般臨床医 (身体化) の立場から	コンセンサス がん治療	7 (1)	30-31	2008
高橋 都、稲葉育代、小島真奈美、田代美貴	座談会「患者さんの性の悩みをタブーにしない」特集「ナースが患者の性に向きあうとき」	看護学雑誌		100-107	2008
高橋 都	高齢者の性：職業的介護者や医療者の態度と対応を中心に	臨床心理学	8 (3)	348-353	2008
高山智子、山本精一郎	“がん情報サービス” 今米国で、I.NCIのがん情報提供機能の概観①National Cancer Institute (NCI) が行うがん情報サービス	癌の臨床	54 (4)	301-306	2008
高山智子、山本精一郎	“がん情報サービス” 今米国で、I.NCIのがん情報提供機能の概観②アメリカの行うがん情報サービスの実際「1対1の情報提供」	癌の臨床	54 (5)	409-414	2008
高山智子、山本精一郎	“がん情報サービス” 今米国で、I.NCIのがん情報提供機能の概観③NCI-SISの情報を保証する-がん情報サービスを支える機能	癌の臨床	54 (6)	491-496	2008
高山智子、山本精一郎	“がん情報サービス” 今米国で、I.NCIのがん情報提供機能の概観④NCI-SISを支えるバックボーン、NCI内の組織的な位置づけと運営体制	癌の臨床	54 (7)	597-601	2008
高山智子、山本精一郎	“がん情報サービス” 今米国で、II. アメリカ国内のがん情報提供サービスの役割分担⑤NCIとアメリカガン協会によるがん情報サービスの役割の違いを概観する	癌の臨床	54 (8)	707-712	2008
高山智子、山本精一郎	“がん情報サービス” 今米国で、II. アメリカ国内のがん情報提供サービスの役割分担⑥アメリカで提供される患者支援プログラムとその特徴	癌の臨床	54 (9)	785-791	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高山智子、山本精一郎	特集 がん診療の拠点化と均てん化ーがん対策基本法成立から1年ーがん情報のネットワーク	最新医学社	63 (6)	69-75	2008
高山智子、山本精一郎	がん情報サービス今米国でⅢ日本のがん情報サービスのあり方を考える⑦	癌の臨床	54 (9)	861-867	2008
中山和弘	ヘルスリテラシーとヘルスプロモーション	病院	67 (5)	394-400	2008
瀬戸山洋子、中山和弘	全国保健所ウェブサイトの情報発信内容とユーザビリティ、アクセシビリティ評価	日本公衆衛生雑誌	55 (2)	93-100	2008
Takahashi M, Ohno S, Inoue H, Kataoka A, Yamaguchi H, Uchida Y, Oshima A, Abiru K, Ono K, Noguchi R, Kai I	Impact of breast cancer diagnosis and treatment on women's sexuality: A survey of Japanese patients	Psycho-Oncology	17(9)	901-907	2008
Watanabe Y, Takahashi M, Kai I:	Japanese cancer patient participation in and satisfaction with treatment-related decision-making: a qualitative study	BMC Public Health	8		2008
Yoshie,S.,Saito,T., Takahashi,M., Kai I	Effect of work environment on care managers' role ambiguity:An exploratory study in Japan	Care Management Journals	9(3)	113-121	2008
Aita,K.,Miyata,H., Takahashi,M., Kai I	Japanese physicians' practice of withholding and withdrawing mechanical ventilation and artificial nutrition and hydration from older adults with very severe stroke	Arch Gerontol Geriatr	46	263-272	2008
Okubo,S.,Takahashi,M., Kai I	How Japanese parents of deaf children arrive at decisions regarding pediatric cochlear implantation surgery:A qualitative study	Social Science & Medicine	66	2436-2477	2008
Yoshio,A.M.,Takahashi M, Kai I	The Trick of Probabilities:Pregnant women's interpretations of maternal serum screening results in Japan	Nursing and Health Science	10	23-30	2008

研究成果の刊行に関する一覧 平成21年度

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
高橋 都		日本臨床腫瘍学会編	性機能障害・新臨床腫瘍学第二版	南江堂	東京都文京区	2009	859-862
石川睦弓、北村有子		静岡県立静岡がんセンター編	患者・家族支援：がん看護研修マニュアル	南江堂	東京都文京区	2010	19-22
高橋 都		日本臨床腫瘍学会編	性機能障害・新臨床腫瘍学第二版	南江堂	東京都文京区	2009	859-862
高橋 都			ケア従事者のための死生学	ヌーヴェルヒロカワ	東京都千代田区	印刷中	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
松下年子、 <u>松島英介</u>	がん患者が医療者に期待する、告知をめぐっての心のケアとサポートのあり方 - がん患者およびサバイバーを対象としたインターネット調査より	精神科	15巻6号		2009
松下年子、 <u>松島英介</u>	がん告知から治療までの医療者による「こころのケア・サポート」と、「情報提供」の実態 I - がん患者およびサバイバーを対象としたインターネット調査より-	総合病院精神医学	—		2009 9月受理 (432)
松下年子、 <u>松島英介</u>	がん告知から治療までの医療者による「こころのケア・サポート」と、「情報提供」の実態 II - がん患者およびサバイバーを対象としたインターネット調査より-	総合病院精神医学	—		2010 2月受理 (437)
武田裕子、大滝純司、 <u>高橋 都</u> ほか	医師偏在の背景因子に関する調査研究第1報- 医学生、初期研修医の進路選択の現状と診療科・診療地域選択の影響要因	日本医事新報	4471号	101-107	2010
<u>高橋 都</u>	がんサバイバーの性機能障害と性腺機能障害への支援	腫瘍内科	5巻	139-144	2010
<u>高橋 都</u>	乳癌治療後のセクシュアリティ：医師・看護師に期待される支援	CancerBoard 乳癌	3巻	87-90	2010
<u>高橋 都</u>	がんになっても人生は続く	泌尿器科ケア	15巻	233	2010
<u>高橋 都</u> 、加藤知行、前川厚子、小池真規子、甲斐一郎	Enterostomal Therapist / Wound, Ostomy, Continence Nursesによる性相談の実態調査：相談内容とアドバイスに着目して	日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌	—		印刷中

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yamazaki H, Slingsby BT, Takahashi M, et al	Characteristics of qualitative studies in influential journal of general medicine: a critical review	BioScience Trends 3		202-209	2009
Taira N, Sawaki M, Takahashi M, Shimosuma K, Ohashi Y	Comprehensive geriatric assessment in elderly breast cancer patients	Breast Cancer			2009
Ledesma D. <u>Takahashi M</u> , Kai I	Interest in a group psychotherapy program among Philippine breast cancer patients and its correlative factors	Psycho-Oncol ogy			2009

